

コロナウィルス感染症対策方針

大阪高体連テニス専門部

- ①エントリーの際、必ずダウンロードした健康チェックシートに必要事項を記入の上、提出すること。
発熱・咳・くしゃみなどの症状がみられる場合、出場は出来ない。なおチェックシートは試合日ごと、毎回提出すること。
- ②試合は無観客とする。したがって会場内に入れるのは、顧問(各校1名のみ)と選手とする。エントリーの際選手と顧問に ID タグを渡すので、顧問は会場にいる間は必ず身につけること。選手は試合中以外は身につけること。
- ③プレー中以外は、必ずソーシャルディスタンスを遵守しマスクを着用すること。なお自身が着用しているマスクについては、使用時以外はビニール袋に入れるなど、管理を確実に行うこと。
- ④タオルは体等を拭くため以外に、必ずもう1枚大きめのものを用意しておくこと。ベンチでは必ず大きめのタオルを敷いて、その上に座ること。体等を拭くタオルも、そのタオルの上に掛けておくこと。敷くタオルを持ってこなかった者は、ベンチを使用しないこと。
- ⑤セルフジャッジで行うが、感染対策のためスコアボードは置かない。したがってポイントやゲーム数を確認するために、必ずサーバーはサーブの前にポイントコールを行い、互いに確認すること。
- ⑥試合の前後には必ず手指の消毒を行うこと。
- ⑦オーダーオブプレーは、本部役員のみ動かすことになるので、選手は触らないこと。
- ⑧選手同士でボールをやり取りする際、手渡しは禁止する。ラケットを使用するなどして、なるべく直接ボールに触れないようにすること。エンドチェンジの際は、ベースライン付近にボールを置くなどすること。
- ⑨ダブルスの試合に際して、ペア同士での接近してのコミュニケーション・ハイタッチなどの行為・ペア間でのボールの手渡しは禁止する。ベンチでの休憩の際も、適切な距離を取ること。
- ⑩試合終了後の握手は禁止する。終了後互いにネットから1m離れて、礼をすること。これを終了の合図とみなす。
- ⑪その日の試合が終了したら、速やかに帰宅すること。他の選手の試合観戦などは、原則として行わないこと。また顧問などからの試合後のアドバイス行為も、出来る限り後日等に行うこと。
- ⑫屋内の施設内では休憩は認めるが、飲食は禁止とする。休憩の際もソーシャルディスタンスの遵守・マスク着用などを行うこと。また更衣室の使用については、各会場の指示に従うこと。多人数での使用を避けるためにも、使用する前に大会本部に許可を求めること。
- ⑬急な天候の悪化による屋内待機は「密集」となってしまうので、原則として屋外待機とする。よって各自で雨具等を用意してくること。
- ⑭手指の消毒のためのアルコールなどは本部で用意をするが、出来る限り各自でも用意をしていくこと。
- ⑮試合で使用したボールを持ち帰る際は、必ず缶等に入れて持ち帰ること。またそのボールは1週間以上開けずに保管しておくこと。